

第 24 回日本原子力学会バックエンド部会総会議事メモ

日時：平成 17 年 9 月 14 日（水）12:00～13:00

場所：八戸工業大学 教養棟旧館 講義室 210（日本原子力学会 2005 年秋の年会 L 会場）

議事内容

1. 森山副部長挨拶

2. 平成 17 年度活動報告

2.1 週末基礎講座の案内（広報担当：佐々木委員）

以下の日程でバックエンド週末基礎講座を開催することとし、現在、参加者を募集中であることを報告（予定 20 名程度に対し、現在 10 名弱の応募）。

- ・日時：2005 年 10 月 15 日（土）～16 日（日）
- ・場所：財団法人 電力中央研究所 大手町本部
- ・プログラム：概論 3 件，研究最前線 4 件の予定

2.2 部会 HP とメールサーバーの管理・移行（広報担当：佐々木委員）

バックエンド部会 HP およびメールサービスに関する対応の現状について、以下のとおり報告。

- ・出版小委 HP を部会 HP 下に移行する方向で調整中。あわせて、論文提供サービスの実施や有料 HP サーバーの使用も視野に入れて検討中。
- ・運営委員会メーリングリストについては、従来の原研サーバー（無償）から、有料 ML サービス、または他の研究機関への移行を検討中。
- ・部会 ML（届けてネット）は従来どおり利用。

会場からは、広く一般の方にも活用できる HP を期待する旨の意見があった。

2.3 海外発表助成制度および研究会支援制度（庶務担当：清水委員）

海外発表助成制度について、以下のとおり報告。

- ・平成 17 年度上期分（平成 16 年度選考）として確定した 2 名のうち、1 名は報告書作成中、1 名は 9 月渡航予定。
- ・平成 17 年度下期分は応募なし（8/10 に締め切り）、平成 18 年度上期分を募集中。研究会支援制度については、平成 17 年度分を募集中であることを報告（現在のところ、応募なし）。

2.4 部会誌「バックエンド研究」（出版担当：杉山委員）

第 11 巻 No2 については、特集「20 周年特集記事」（寄稿 20 件、部会関連史料）、「地質環境の長期安定性に関する研究」（研究論文 5 件、総説 2 件）、および研究論

文 1 件の構成で現在印刷中であることを報告。

第 12 巻 No1 については，原稿受付中であることを報告。

2.5 表彰委員会（表彰委員会：森山副部長）

表彰委員会に関する経緯，現状を以下のとおり報告。

- ・表彰委員会が平成 16 年度部会総会（春の年会）で承認され，平成 17 年度から試行中である。
- ・賞の種類は，功績賞，業績賞，奨励賞，優秀講演賞。
- ・平成 17 年度表彰委員は，森山副部長（京都大学）を委員長とし，バックエンド部会の前年度運営委員から，功績賞担当委員：佐藤先生（北海道大学），業績賞担当委員：稲垣氏（原環センター），奨励賞担当委員：宮原氏（サイクル機構），優秀講演賞担当委員：山口氏（原研）を選出した。

本年度のスケジュールについて，以下のとおり報告。

- ・6 月：表彰委員の選出
- ・7 月：選考ルールの検討（初年度のため）
- ・9 月～11 月：公告（優秀講演賞は会議の都度）
- ・11 月～12 月：表彰委員会による表彰者の選考
- ・3 月：表彰（春の年会において）

2.6 第 21 回夏期セミナーの報告と今後の活動方針（企画担当：上田委員）

以下のとおり成功裏に開催されたことを報告。

- ・日時：2005 年 7 月 28 日（木），7 月 29 日（金）
- ・場所：山形市（山形国際ホテル）
- ・参加人数：約 150 名

パネルディスカッション「地層処分に関する知の継承と人材育成：学会として何をなし得るか？どう取り組むべきか？」での議論をふまえ，「地層処分に関する知の継承と人材育成」について，バックエンド部会としても検討していきたい旨を報告。

今後は，第 22 回夏期セミナーに向けて，以下の予定で準備を進めることを報告。

- ・3 月：テーマ募集・アンケート，開催場所の選定等，準備開始
- ・6 月：プログラムの決定，アナウンス
- ・7 月末～8 月初旬頃：開催

以上